藤沢はこんなに面白い

話題のネタ連発リスト

市民の皆さんからいただいた情報をもとに、人・場所・事など
バラエティー豊かに藤沢をご紹介。こんな藤沢、あんな藤沢。

この冊子のこの文字数では、紹介しきれません、説明しきれません。
ぜひググってください、そして藤沢までぜひ調べに来てください。

シンボルツリーと悲しい伝説

舟地蔵公園

藤沢市大庭地区にある公園。四季折々の美しさと、大きなシンボルツリーはひそかな人気。そして、舟地蔵には大庭城落城にまつわる、ぼた餅売りの老婆の悲しい逸話が残っている。舟地蔵のドラマチックな謎を、ひもといてほしい。

〈ＤＡＴＡ〉➡ 藤沢市大庭5143

撮影：日比野 信さん

東京から1時間でたどり着く四季折々の玉手箱

ホタルがいる自然豊かな公園

新林公園

藤沢駅から徒歩で約20分の場所に、新林公園がある。谷戸が広がる自然豊かな公園で、カメラマンやバードウオッチャーも多く訪れる。江戸時代の民家が移築され、茶会や花見、夏にはホタル、四季折々楽しめる。

〈ＤＡＴＡ〉➡ 藤沢市川名411-1

撮影：篠崎 誠さん

藤沢市の花、藤を楽しめる

日本で一番古くから活動を続けてきた

西浜サーフライフセービングクラブ

藤沢市の片瀬西浜海水浴場で1963年に創設されたライフセーバーのチーム。以降、ずっと溺者の救助や水辺の監視活動を続け、ライフセービングを広めてきた。日本で最も伝統のある団体だ。ジュニアの育成や大会など日本を代表する選手を育て、環境活動なども熱心に取り組む藤沢が誇る伝統あるライフセーバーチームだ。

〈ＤＡＴＡ〉➡ https://www.nishihama.org

『明仁天皇物語』を描いた、けさ姿の漫画家

漫画家 永福 一成氏

松本大洋の『STRAIGHT』でアシスタントを務め、1991年、第24回ちばてつや賞優秀新人賞受賞作『カラード・ブルー』でデビュー。その後、数々の話題作を描いてきたこだわりの漫画家。昨年出版された『明仁天皇物語』（小学館）は原作を担当し、ベストセラーになっている。鵠沼在住で、なんと浄土真宗（本願寺派）の僧侶も務めるけさ姿の漫画家だ。

『明仁天皇物語』
原作・永福一成
作画・古屋兎丸

2020 ギネス記録達成なるか?!

藤沢ワイン祭りの「最も長い乾杯リレー」

あまりイメージがないかもしれないが、実は藤沢は生産量日本一の「ワインの街」。藤沢ワイン祭りでは、試飲会・販売会の他、なんとワイン婚活も。乾杯リレーは、3回目のチャレンジとなる2020年にギネス記録更新を目指す！

〈ＤＡＴＡ〉➡藤沢商工会議所青年部
http://fujisawa-yeg.com/

世界一大きい金魚すくいゲーム

主催（協）藤沢銀座土曜会

商店街を通行止めにして行う、全長63メートルにわたる金魚すくいの光景は壮観。金魚は約3万匹、併せて市内の小学生が描いたあんどんが千個以上夜を彩る。昨年21回目が開催され、藤沢の夏の風物詩となっている。これまで2度もギネス記録に認定された世界記録のお祭り。

〈ＤＡＴＡ〉➡藤沢銀座土曜会
http://www.doyokai.com/event/index.htm

多くの人でにぎわう

ギネス認定証

藤沢の夏の夜の一大イベント

遊行の盆は一度見に来て

一言で語れないイベントが「遊行の盆」。なぜ藤沢が盆踊りの街？　盆踊りの発祥にどういうつながりがあるのか？　ぜひ藤沢にその謎を調べに来てほしい。多くの市民たちは7月の終わりの2日間、毎年踊りに踊って盛り上がる。盆踊りの魅力を藤沢から！

〈ＤＡＴＡ〉➡ 遊行の盆公式サイト
https://yugyo.bonodori.net/

湘南藤沢地方卸売市場

湘南市場(よってこ市)

販売を専門にするプロショップが集まる市場にもかかわらず、一般の人たちに大人気。毎週土曜日の朝市は大人気で、市民向けのイベントもとにかく多い。藤沢の漬物専門店の秋本食品のザーサイは一度食べてほしい。鮮魚、地元湘南野菜、卵、雑貨、薬、乾物、駄菓子、各種イベント用品、こだわりのお酒、加工食品、日用品、そしてランチがうまい！

ラーメンJUNJI、
中華メモリー、
地元の名店樽寿司市場店・・・
なんで市場の昼飯はうまいのだろう

〈ＤＡＴＡ〉➡ http://shonan-ichiba.jp

一つ星の名店復活

鯛とおばんざいの店「モダン割烹 銀平」

かつて藤沢駅南口にあった小さな割烹「喰い切り ひら山」。「その分野で特においしい料理」と評され一つ星を獲得し、銀座に移転した。藤沢の人たちは寂しがったが、「モダン割烹 銀平」という店で、藤沢駅北口に戻ってきてくれた。平山さんは銀座で腕を磨き、やっぱり藤沢が良くて帰ってきてくれたのだろう。

〈ＤＡＴＡ〉➡ 藤沢市藤沢1006-1-105

地元で人気の魚屋メニュー

ふじやす水産・魚とカレーのお店

藤沢駅北口の鮮魚屋ふじやす水産が店舗の２階で運営する海鮮のお店が大人気。ボリュームいっぱいで、魚は極上と評判で行列が絶えない。また、すぐそばにあるふじやす水産が運営する「魚とカレーのお店」はカレーの名店珊瑚礁の元料理長が腕を振るっている。いずれも一度は食べる価値あり。

〈ＤＡＴＡ〉➡ふじやす水産Instagram：https://www.instagram.com/fujiyasudesu/
（この魚が食べられるのか…魚を見ているだけでも楽しくなるInstagram）

「ちょい」ブームは藤沢から!?

ちょい呑みフェスティバル©

藤沢駅南口で7年前から始まったはしご酒イベント「ちょい呑みフェスティバル©」。もともと藤沢駅周辺には、味のある居酒屋や古くから愛される飲食店が多い。そんな中で「呑んべたちの呑んべによる呑んべイベント」として始まったのがちょい呑み。18回を迎え、その活動は各地のイベントに広がっている。今、ちまたでちょいちょい聞こえてくる「ちょい」という言葉、藤沢が火付け役だったりして。

ザリガニを食う?

藤沢自然と親しむ会

外来種生物が増えることで、その地域に元々根付いた生物が居場所をなくし、多様性が維持できなくなる。藤沢は外来種除去活動を楽しみながら広げていく活動を熱心に行っている。中でも除去グループの「アメリカザリガニ捕りゲーム」は面白い。アメリカザリガニの試食など驚きのレシピに子どもたちもびっくり。

〈ＤＡＴＡ〉➡ https://fujisawa-sizen.com

土地本来の
生態系を破壊する
アメリカザリガニ

藤沢企業のはなし!

藤沢は
「働く車が生まれる街」
なのを体感

いすゞプラザとPLAZA annex

行った人は皆言う。「予想以上にすごかった」と。藤沢のいすゞ工場に隣接するいすゞプラザは、いすゞ自動車の前身のひとつである東京石川島造船所が生産した「ウーズレーCP型トラック（1924年式）」に始まり、数々の働く車が並び（展示されている車両は全てメンテナンスが行き届き、実際に走らせることが可能）、ものづくりなども体感できる。隣接するホテル&ダイニングPLAZA annexは富士山を望む展望大浴場、宴会なども利用でき、客室のベッドヘッドには歴代のいすゞ車の大型パネルがドドーン。これはマニアでなくとも見てみたい。

〈ＤＡＴＡ〉➡ https://www.isuzu.co.jp/plaza/

食堂の屋根に太陽光パネル
藤沢の企業は環境にやさしい

日本精工株式会社藤沢工場

藤沢工場桐原棟は、風力発電機や鉄道車両向けなどの社会に不可欠な大きな軸受を最新鋭の自動化設備によって効率的に生産している。食堂の屋根に太陽光パネルを設置している他、工場内で使用する水を可能な限り再利用するなど、環境にやさしい事業活動を行っている。